

THE ASTRONOMICAL HERALD

Special Exhibition in Commemoration of Hisashi Terao's 100th Anniversary of Death

寺尾壽没後百年記念企画展

東京天文台初代台長

寺尾壽

HISASHI TERAO

星を見つめ、人を育てた、近代天文学の先駆者

入館
無料

2023年
10/12(木)~12/23(土)

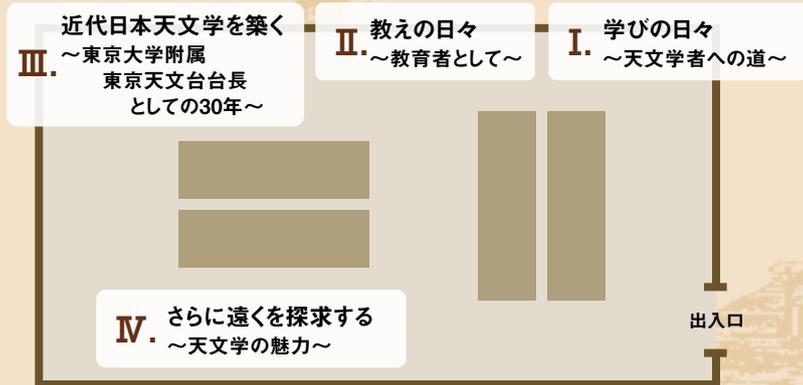
[水・木・金]12:00~16:00 [土]10:00~16:00

東京理科大学 近代科学資料館

[2F]多目的室 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
tel.03-5228-8224

東京理科大学の前身である東京物理学校の創設者21人の1人である寺尾壽について、彼の学びと彼からの教え、さらに周囲の人々を紹介し、近代天文学の歴史を紹介する展示を行います。

福岡県の士族出身の寺尾壽(1855-1923)は、東京大学理学部において伝語で物理学を学び、フランスのパリのソルボンヌ大学に国費留学して天文学など近代物理学を学び、帰国後東京大学理学部星学科教授となりました。また初代物理学校校長を務め、さらに1888(明治21)年発足した東京天文台の初代台長に任命され31年間務めました。寺尾の生涯をたどり、交友のあった人々を紹介するなかで、近代天文学の基礎がどのように築かれていったかを探り、その後受け継がれる天文学の未来を紹介します。



期 間 2023年10月12日(木)~12月23日(土)
 開館時間 水曜・木曜・金曜 12:00~16:00 土曜 10:00~16:00 **入館無料**
 休館日 日曜・月曜・火曜・祝日
 場 所 東京理科大学 近代科学資料館 2F多目的室
 住 所 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
 TEL 03-5228-8224

ホームページ <https://www.tus.ac.jp/museum/>
 主 催 東京理科大学 近代科学資料館
 展示協力 一般社団法人 学士会

公益社団法人 日本天文学会
 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台
 独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所
 福岡県立修猷館高等学校



「JR 飯田橋駅」西口 徒歩4分 / 「地下鉄飯田橋駅」B3出口 徒歩3分

寺尾壽 没後百年記念 企画展
東京天文台初代台長 寺尾 壽
 ~星を見つめ、人を育てた、近代天文学の先駆者~



肖像画「寺尾壽博士像」の紹介
 1909(明治42)年に寺尾の東京大学在職25年を祝し、洋画家黒田清輝が描いた。「天文月報」9号(寺尾壽追悼号)には寺尾のサインを添え掲載された。実物は東京国立博物館所蔵。

子午儀
 持ち運びが可能なので、日本の各地の経度を決定するために使われたもの。
 <国立天文台所蔵>



「天文月報」日本天文学会発行
 1923(大正12)年9月(第16巻 第9号)
 (寺尾壽追悼号)表紙
 1908(明治41)年4月に発刊し、寺尾が発刊の辞を寄稿。現在も続く研究誌。

日本国メートル原器(No.22)
 1890(明治23)年にフランスから日本に到着し、1960(昭和35)年まで1mの基準として用いられた。
 <産業技術総合研究所所蔵:国の重要文化財> ※展示はレプリカ



★ 関連トークイベント ★

11月24日(金)「数学で解く宇宙」
 15:00~16:00
 講師 佐古彰史 東京理科大学理学部第二部数学科教授
 事前申し込み・詳細は当館HPへ!

<下記、開催日は開館しています>
 10月29日(日)「ホームカミングデー」
 11月24日(金)・25日(土)「理大祭」



神楽坂
 まち飛びフェスタ
 2023

